

すべての子どもの笑顔のために

例えば… 勝ち負けや、「一番に、強い」こだわりがある子には、ゲーム等をしながら、負けても平気、「一番でも楽しい」という経験を「つませたり」…

この教室には、⑤ 少しの時間、個別のサポートが必要な子がやてきます。週に1~2時間程度です。

通級指導教室って？

通級による指導を受けられている子は、増加しています。

平成	小学生	中学生
19年度	43,078	2,162
21年度	50,569	3,452
23年度	60,164	5,196

文科省調査 各校別現在(人)

人前で話すことが苦手な子には、人形を使うなど話しやすい状況を作り話をする練習をしたり…。その子に合わせた指導しています。

次時間にむけて、気分を切りかえていただきます。

先生、今日は通級指導教室のことを教えてください。

少子化って言われてるのに、二スが高いんですね。

この教室では子どもの状態を改善するための指導をしています。

喜びたいです。

教育

特別支援教育って何？

特別支援教育は、「障害のある子どもが、将来社会に参加し自立した生活をするために必要な力を培うことを目的に、生活や学習上の教育的ニーズを把握し、それを改善・克服するために適切な指導と必要な支援を行うもの」です。特別支援学

校や小・中学校の特別支援学級、通級指導教室など特別な教育の場だけでなく、通常の学級でも、子どもの教育的ニーズに応じて指導や支援を行っています。

今月は、通級指導教室での指導について紹介します。

通級指導教室とは…

上のマンガにもあるように、通級による指導は通常の学級での学習におおむね参加ができ、少しだけ特別な教育支援が必要な子どもを対象に、その子の状態にあった指導を行い、通常の学級において、よりよい学校生活ができるよう支援していくことをねらいとしています。

五島市内には福江小学校に「ことばの教室（言語障害通級指導教室）」と「なのはな教室（LD・ADHD通級指導教室）」が、また、福江中学校にLD・ADHD通級指導教室があります。

指導は基本的に子どもと先生が1対1で、きめ細やかに個別指導を行います。

現在、小・中学生合わせて約50名が状況に応じて週に1~2時間程度、通級による指導を受け、課題の克服に取り組んでいます。

五島市内の全小・中学校からの通級が可能で、通級のために要する時間は遅刻や早退、欠席扱いにはなりません。



△自信をもってクラスメイトに紹介できるよう通級指導教室で作品を丁寧に制作しています。

◆次回内容 特別支援学級での学習

言葉がスムーズに出にくい。発音がはっきりしない。早合点や飛躍した考えをする。文字等の細部の書き間違いが目立つ。落ち着きがなく一つのことに集中できないなど、気になる点がある場合は学校教育課まで気軽に御相談ください。

◆問合せ 学校教育課 ☎72・7801